

Lesson4 おうちではじめるDIY

「おうちではじめるDIY」では、毎回作品づくりと一緒にDIYの基礎知識を紹介していきます。第4回の作品は「三段ミニラック」です。小さ目のラックなので、いろんな場所で活躍しますよ！基礎知識は、木材の性質や印つけについて教わります。

◇三段ミニラック ◇

材料

杉板 [A] 130×104×12×1 [B] 106×104×12×3 [C] 410×104×12×2
スリムビス(25mm)16本、木工用ボンド、紙ヤスリ(180番)

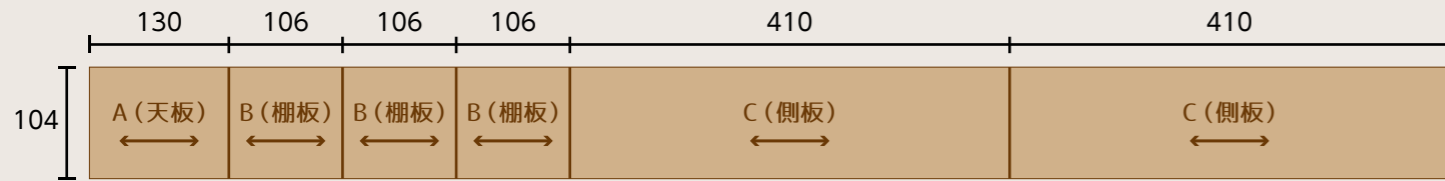
※材料寸法は長さ×幅×厚み×枚数であらわしています。単位はmm
※板は、ホームセンターの木材カットサービスを使って入手することができます。
お手持ちの板のサイズに合わせて、作品の長さや幅をアレンジしてもよいです
※塗料は、ミルク原料を使用した天然由来ペイントを使用しています

引き出しとして使う場合で、裏板が必要なとき
シナベニヤ [D] 402×130×4×1 スリムビス(13mm)8本

道具

ドリルドライバー、ドリルビット(2mm)、ドライバービット(+1)、定規、キリ、ヘラ(ボンド用)、塗装用スポンジ、木杵や捨て板等

本取り図 単位：mm(ミリ)

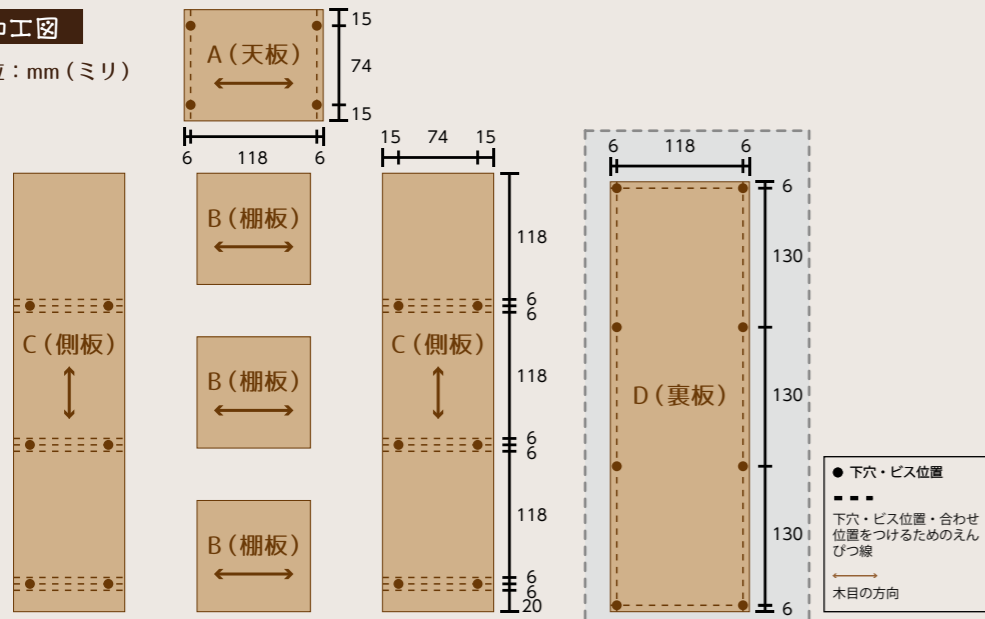


幅方向のサイズをそろえてあるので、長さをカットするだけで作ることができます

側板の長さを変えると高さや違う棚を作ることができ、天板と棚板の長さを変えると横幅が違う棚を作ることができます。自分サイズの棚に挑戦してみましょう。

加工図

単位：mm(ミリ)



講師紹介
スマイルウッド代表
岡さつきさん



伊賀市笠部で「スマイルウッド『おうち木工教室』」を開講。木でできたものが持つぬくもりと、ほっとする時間を届けたいという想いから大阪で起業。その後、木工の師匠や仲間と出会い、自宅でも開業できるおうち木工教室の講師を養成する「スマイルウッド」の代表に。2015年に古い民家を仲間と改装し、拠点を伊賀市笠部へ。木のものづくりの楽しさを広げたいと日々奮闘中。

スマイルウッド おうち木工教室 笠部のおうち

国産杉の木工キットを使った、こだわりの多い木工教室を開講。木材は産地証明付き。天然素材の接着剤や植物のやすりを使い、他にはない体験ができます。60種類以上の木工キットは、コースターのような小さな作品から大人用のツールのような作りがいのある作品まで多種多様。塗装は20色のカラーバリエーションを用意。選ぶ楽しみ、作る楽しみ、使う喜びを感じていただける『おうち木工教室』。木工がはじめてという方も大歓迎。楽しみながら作品をつくるうちに、DIYの幅が広がります。体験レッスンも随時受け付け中！

住所 伊賀市笠部 533
開講時間 水曜・土曜 13:30~17:00
※応相談。要電話予約
TEL 080-7041-6483
HP <http://smile-wood.com/>



作り方

- ① 定規を使って、A天板・C側板(共に内側接着面)に印をつけます。
- ② ドリルビットのずれ防止に、ビス位置にキリで軽く穴をあけておきます。
- ③ 2mmのドリルビットを付けたドリルドライバーでA・Cともに下穴(貫通穴)をあけます。木杵にのせた捨て板の上に材を置いて穴をあけましょう。
- ④ BとCの接着面にボンドを塗り、ドライバービット(+1)を付けたドリルドライバーで、ビスどめします。1枚ずつ作業を進めましょう。
- ⑤ ④をひっくり返して、もう一枚のCと接するすべての部分にボンドを塗り、ビスどめします。
- ⑥ ⑤を立ててAと接する部分にボンドを塗り、ビスどめします。
- ⑦ 紙ヤスリで表面を整えます。
- ⑧ 小さく切ったスポンジで、塗料を塗ります。

印をつける時は、先のとがったえんぴつを叩いて印差が少ないですよ

はい！

使いやすいラックなので、サイズ違いを作るのもおすすめです！

サイズ違いのラックにも挑戦してみたいです！

今回の基礎知識！

[1] 木は反ったり縮んだりする

木材(特に無垢材)には、反りや伸び縮みがあります。これは育った環境、山から伐り出してから加工、どれくらい乾燥させてあるかなど、いろいろな条件によって起こるものです。そしてどんなにきちんと寸法を測ってカットしても、組み立てるまでにまわりの湿度との関係で反ったり縮んだりするものだと考えてください。組み立ててからも変化します。

[2] 印をつける面

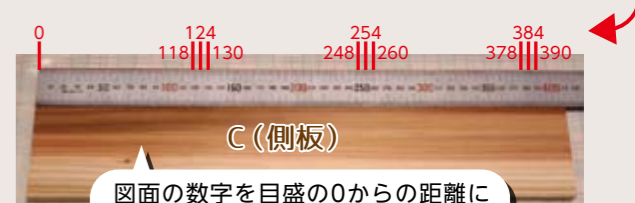
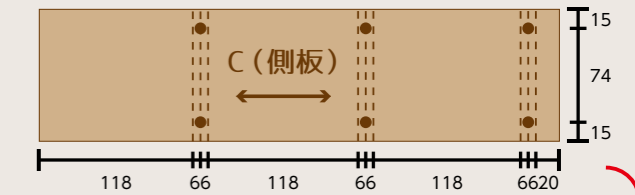
ビス組みでは、まずビス位置に印をつけ、そこに下穴をあけてからビスを打ちます。また必要に応じて、部材と部材を合わせる位置の印つけもします。それらの印は、組み立てたときに内側になる面につけましょう。

[3] 定規で寸法を測って印をつける

定規を部材の端に置いてから1mmほど平行にずらし、真上から目盛を見て、とがったえんぴつで印をつけます。

1つの部材の同じ線上に数ヶ所の印をつけるときは、定規を置き直すと誤差が出やすくなります。部材よりも長い定規を使って、図面の数字を目盛の0からの距離に読みかえて一気に測るようにします。

※この側板は、天板と接する側に目盛の0がくるようにして測ります。



図面の数字を目盛の0からの距離に読みかえて一気に測るようにします。

おすすめディスプレイ



サイズ違いの作品を組み合わせ、ディスプレイしてみました。引き出しは、前回の作品に引き手をつけたものです。ラックと引き出しは同じ色に塗って美しいですし、いろんな色に塗って、遊んでみて楽しいですね。※今回の作品は、スマイルウッドでも体験できます